

2024年10月31日

各位

会社名 日本調剤株式会社
 代表者名 代表取締役社長 笠井 直人
 社長執行役員
 (コード番号 3341 東証プライム)
 問合せ先 グループ 加藤 慶
 経営企画部長
 (TEL. 03-6810-0800)

2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2024年4月30日に公表いたしました2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異 (2024年4月1日～2024年9月30日)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	百万円 183,700	百万円 6,900	百万円 2,300	百万円 2,400	百万円 1,200	円 銭 40.11
実績値 (B)	175,575	5,003	423	772	△43	△1.44
増減額 (B－ A)	△8,124	△1,896	△1,876	△1,627	△1,243	△41.55
増減率 (%)	△4.4	△27.5	△81.6	△67.8	—	—

2. 差異の理由

売上高及び営業利益につきましては、調剤薬局事業において、前年度と同程度を見込んでいた感染症患者数が期初想定を下回ったこと等により処方箋枚数が下振れたこと、また医薬品製造販売事業においてはグループ会社である長生堂製薬株式会社の川内工場で、2024年4月に製造管理上の不備が発覚したことに起因してジェネリック医薬品の製造・販売が期初の想定を下回ったこと等により前回発表予想を下回る結果となりました。調剤薬局事業においては、処方箋枚数の応需強化、および医療 DX・かかりつけ機能・在宅医療の推進により処方箋単価の向上を図るとともに、不採算店舗の抜本的な見直しに着手しており、売上原価の低減に向けた各種施策を実施することで下期の業績において改善を見込んでおります。医薬品製造販売事業においては、長生堂製薬株式会社の川内工場において製造管理上の不備の改善を進めており、2024年7月より一部の製品について製造・販売を再開しております。また、グループ全体で販管費の抑制も実施しており、下期においては連結業績の改善に寄与することを見込んでおります。

2025年3月期第2四半期（中間期）の実績につきましては、本日公表いたしました「2025年3月期第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」をご覧ください。

なお、通期業績予想につきましては、現時点において変更はありません。今後業績予想修正の必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

以 上